

水土里情報を活用した作付実態調査について紹介します

今回紹介する団体：玉城町、水土里ネットみえ

取組概要

内容：水土里情報システムに水田台帳データを取込み、経営所得安定対策の現地調査用の作物ごとに色分けした図面データを作成。

現地調査後の図面作成や調査データの修正作業に水土里情報システムを活用するなど、作付実態調査を効率化。

経緯：①紙図面での現地調査、調査結果の整理作業が煩雑になっていた。

また、作付状況確認のため、紙地形図に手作業で色塗りや耕作者、作物名の記入を行っていたため、業務の省力化、効率化が望まれた。

②新たなシステムを導入するのではなく、既存利用の水土里情報システムを活用できないか検討を行った。

③令和3年では特に時間を要していた作物別色分け図面の作成と調査結果の整理に重点を置き、水田台帳と農用地筆ポリゴンを紐付けし、調査結果の整理及び図面作成を行うこととした。

取組による効果

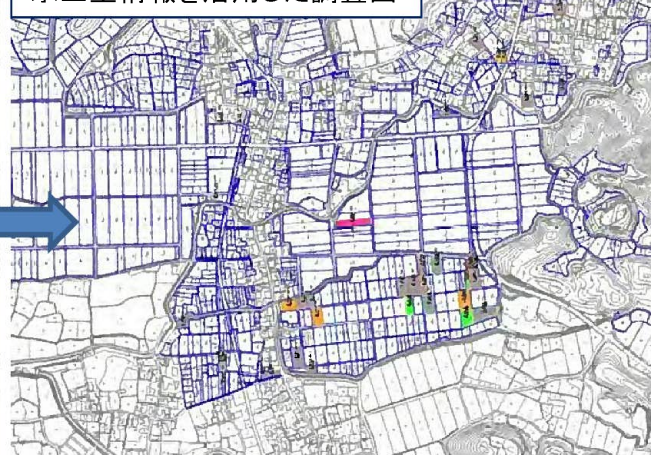
①業務の効率化により、通常1か月程度かかっていた業務を数日で終わらせることが可能となった。

②水土里情報システムを利用して受益地の作付状況をデータ管理し、最新の状況を把握することが可能となった。

従来の紙地形を利用した調査図



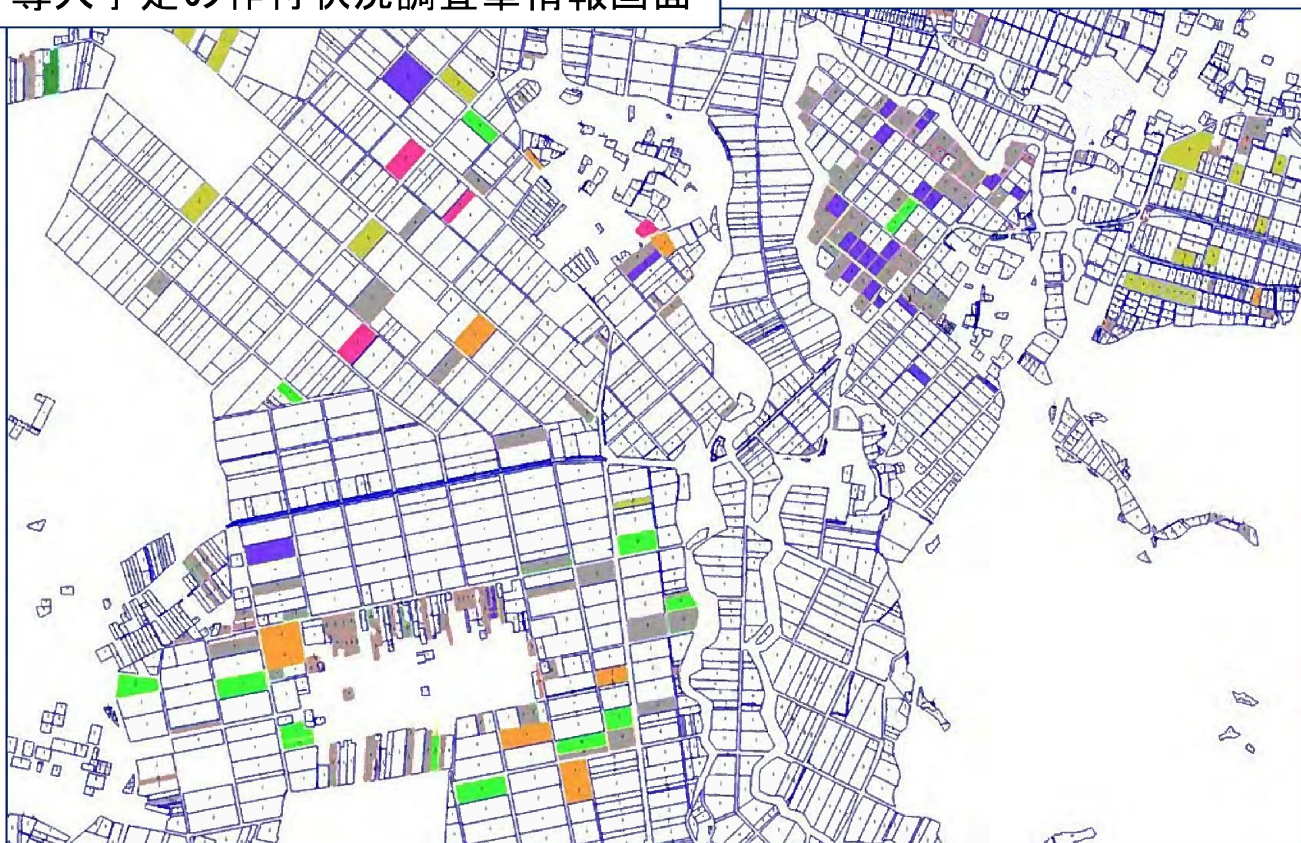
水土里情報を活用した調査図



今後の活用予定

GPS機能の付いたタブレット端末を導入し、写真データの管理や筆情報データの入力を現地で行えるようにすることでさらなる業務の効率化、省力化に努める予定

導入予定の作付状況調査筆情報画面



GISシステムのバージョン情報

GISアプリ; 水土里Maps ver7.1

GISエンジン; SIS ver7.1

■お問い合わせ先

三重県土地改良事業団体連合会 事業部 農村整備課 059-226-4825